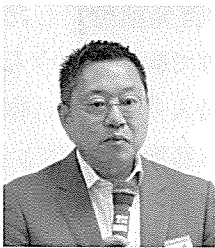


## 尾張北支部

# 不法投棄撲滅 努力が実を結び実現した 不法投棄ゼロ!

尾張北支部（金田英治支部長）不法投棄防止パトロール報告会が、6月7日（水）午前11時からグリーンパレス春日井（春日井市東野町）で23社31名、来賓として尾張県民事務所廃棄物対策課主幹 山本文晴氏、事務局から専務理事 渡邊 修氏が出席して行われました。



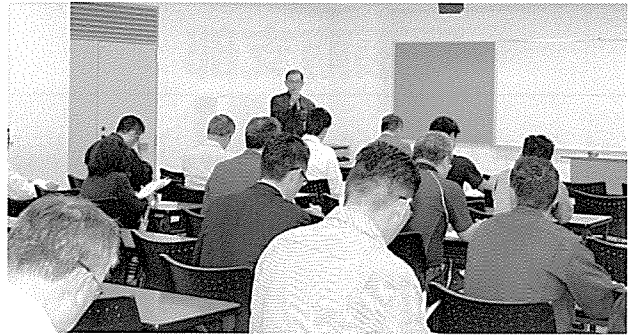
金田支部長

報告会の司会進行は吉川雅広氏が執り行い、金田支部長は挨拶で「不法投棄防止パトロールのレポート発表において、各社のプレゼン力が年々進歩しているのではないかと感じております。地図の表示方法、コメントの工夫により、現場の状況がより明確に伝わります。今後不法投棄防止パトロールの活動を積極的にアピールし、少しでも業界のイメージアップを図る一助としていきたいと思っております。」と述べました。



渡邊専務理事

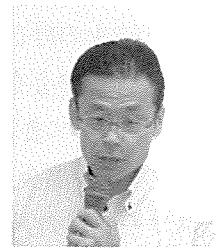
来賓の挨拶で渡邊専務理事は「6月は環境月間ということもあり、不法投棄防止パトロールを行っていただきました。地道な活動のように思われますが、環境保全・公衆衛生の向上へとつながっていきます。本日の報告レポートは事務局で取りまとめ、関係する行政機関に連絡しパトロールの成果を活かしていただくよう



にいたします。」と述べました。

報告会は13社19件の発表がありました。事例では、①定期的に掃除をしているが、その後不法投棄をする。（日進市赤池）②生活ごみが大量に不法投棄（瀬戸市国道248号沿い）③大量の可燃ごみ、不燃ごみ（TV、いす、ベッド他）が不法投棄され経過観察中（一宮市国道41号沿い）④大量のコンクリートがら、廃プラスチック類、あらゆる廃棄物（長久手市内）の報告がありました。しかし唯一不法投棄報告ゼロの地域（県道33号瀬戸～設楽線 瀬戸祖白坂町）があり、報告者の誠美社工業（株）河村峰生氏は、初めてのことで大変うれしい、と努力の成果が得られたことを喜ばれていました。

その後、尾張県民事務所廃棄物対策課 山本主幹は講話の中で「報告の中で悪質であると感じたものに、コンクリートがら等の過剰保管があります。この件は愛知県でも把握しており、現在監視指導に入っている最中です。



尾張県民事務所  
山本主幹

写真④にもあるように外国の国旗を立ててあり、個人（外国人）が作業しており要領を得ない状況ですが、しっかり指導をしていこうと思っています。」と所感を述べ、報告会は終了しました。その後、食事会が催されパトロールの成果について話が弾み、会員同士の結束を図ることができた食事会となりました。

